

【経営史学会 2010 年度関東部会大会】

経営史研究としてのカルテル論再考

—競争と協調を併存させたカルテル機能とは？—

日時：2010 年 7 月 31 日(土) 13:00~17:00

会場：早稲田大学 8 号館 303 会議室

問題提起・論点整理：久保文克（中央大学）

報告者：

(1) 長廣利崇（和歌山大学）

「戦間期日本の石炭カルテルにおける競争抑制機能と経営資源補完機能」

(2) 藤田幸敏（愛知学泉大学）

「糖業連合会の利害調整機能と産糖協定」

(3) 橋川武郎（一橋大学）

「業界団体の利害調整機能を通じた競争の促進

—地球温暖化防止への鉄鋼業界と化学業界の取組み—」

コメンテーター：武田晴人（東京大学）、齊藤直（フェリス女学院大学）

司会：牛島利明（慶應義塾大学）

問題提起

久保文克（中央大学）

- ◇ 経営史研究としてのカルテル論再考
 - 競争と協調を併存させたカルテル機能とは？
- ◇ 業界団体とカルテル：上位概念としての業界団体
 - 競争抑制機能発揮の有無、競争抑制機能を目指した利害調整機能の有無？
- ◇ カルテル＝基本機能（競争抑制機能・利害調整機能）＋付加的機能（経営資源補完機能）？ or 基本機能（競争抑制機能）＋付加的機能（利害調整機能、経営資源補完機能）？
- ◇ 競争抑制機能と利害調整機能はコインの表裏：両者の強弱は業界・時期により異なる
 - 競争抑制機能が強い戦間期石炭鉱業組合、利害調整機能が強い糖業連合会
- ◇ 競争と協調の併存：経営資源補完機能、利害調整機能、そして競争促進機能
- ◇ 価格安定化と競争促進を併存させた利害調整機能と経営資源補完機能
- ◇ カルテル論再考：利害調整機能の重要性に着目

戦間期日本の石炭カルテルにおける競争抑制機能と経営資源補完機能

長廣利崇（和歌山大学）

I. 課題

- ・本報告の目的
- ・分析対象（筑豊石炭鉱業組合）

II. 筑豊石炭鉱業組合の活動 I（明治期）

- ・石炭輸送（「かわひらた」輸送）
- ・若松港拡張
- ・陳情活動

III. 筑豊石炭鉱業組合の活動 II（1914 年）

- ・採炭制限（第一次大戦ブームによって中止）

IV. 筑豊石炭鉱業組合の活動 III（戦間期）

（1）石炭カルテルの形成

- ・産炭地筑豊の位置づけ
- ・石炭鉱業連合会の設立（1921 年）：全国的な送炭制限組織の成立
- ・産炭地間の差異（筑豊と常磐）

（2）筑豊石炭鉱業組合の活動

- ・送炭制限の実施
- ・送炭制限における利害調整
- ・情報収集と公開
- ・「講演会」による技術情報の公開
- ・陳情活動

V. 結語

- ・明治期：経営資源補完機能の比重が高い。
- ・戦間期：競争抑制・利害調整機能の比重が経営資源補完機能よりも相対的に高くなる。

糖業連合会の利害調整機能と産糖協定

藤田幸敏（愛知学泉大学）

はじめに—本報告の経緯—

I. 糖業連合会におけるカルテル活動

- ・糖業連合会設立の経緯
- ・糖業連合会の活動
- ・産糖協定の意味

II. 対立構造の顕在化と産糖協定

- ・産糖協定の推移
- ・対立構造の顕在化と産糖協定成立の条件
- ・利害調整機能必要性の変化
- ・利害調整機能発揮の実例

III. 利害調整機能の評価

- ・糖業連合会における競争と協調
- ・利害調整機能の発揮された産糖協定と発揮されなかった産糖協定
その成立・不成立と実効性
- ・糖業連合会の競争抑制機能が限定的であった理由
- ・糖業協会が維持された理由
利害調整機能と糖業連合会の競争的側面

おわりに—糖業連合会にとって利害調整機能とは何であったか？—

業界団体の利害調整機能を通じた競争の促進 —地球温暖化防止への鉄鋼業界と化学業界の取組み—

橋川 武郎（一橋大学）

はじめに

- ・カルテルをめぐる歴史研究の「復活」
社団法人糖業協会監修・久保編著（2009）、長廣（2009）のあいつぐ刊行
- ・戦後におけるカルテルの禁止と業界団体活動の継続
- ・業界団体活動の国際化と地球温暖化防止への積極的関与

I. 経営史的アプローチによるカルテル研究の進展

- ・独占価格から価格安定化へ：橋本・武田編（1985）
- ・競争と協調の並存：橋川（1990）
- ・経営資源補完機能への注目：脇村（1981）、橋川（1990）
- ・利害調整機能の析出：社団法人糖業協会監修・久保編著（2009）

II. 地球温暖化防止をめぐる問題状況

- ・COP（国連気候変動枠組条約締約国会議）による国別アプローチの問題点
- ・COP3による「京都議定書」の落とし穴
- ・「鳩山イニシアティブ」との関係
- ・国別規制による競争条件の歪み

III. 国際鉄鋼協会（IISI）のセクター別アプローチ

- ・セクター別アプローチとは何か
- ・鉄鋼業におけるセクター別アプローチのCO₂排出削減効果
- ・IISIの取組み
- ・石炭火力におけるセクター別アプローチとその限界

IV. 国際化学工業協会協議会（ICCA）のLCA的手法

- ・LCA（Life Cycle Assessment）とは
- ・化学産業を出発点としたLCA的手法によるCO₂排出削減効果
- ・ICCAの取組み
- ・LCA的手法とセクター別アプローチの組合せ

おわりに

- ・利害調整機能

- ・競争促進機能
- ・利害調整機能を通じた競争の促進

参考文献

- 橘川武郎（1991）「戦前日本のカルテル」『青山経営論集』（青山学院大学）第 25 巻第 4 号。
（社）糖業連合会監修・久保文克編著（2009）『近代製糖業の発展と糖業連合会』日本経済評論社。
- 長廣利崇（2009）『戦間期日本石炭鉱業の再編と産業組織』日本経済評論社。
- 橋本寿朗・武田晴人編（1985）『両大戦間期日本のカルテル』御茶の水書房。
- 脇村義太郎（1981）「大日本紡績連合会論」『脇村義太郎著作集第 5 巻』日本経営史研究所（初出は 1931 年）。